

# トゲソの会活動ニュース4号

10月・11月・12月

2013年1月

NPO法人  
五泉トゲソの会

## ■ トゲソの会高橋理事長・新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。トゲソの会も16年目となりました。

今年は「巳年」、様々な課題の解決に向かって曲がりくねった道ですが、引き続いて前に進んで参りたいと思います。

今後とも、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

## 1、地域づくりサポートマッチングイベントに参加（10月8日）



▲トゲソの会もサポーターを募集

新潟県の主催で「地域づくりサポートマッチング会議」にトゲソの会が参加しました。

これは、地域づくりに取り組んでいる団体の悩みや課題解決に向けて「サポーター」を見つけようという催しで、県内より15団体が希望の手をあげました。

また、サポーターとしては13人が名乗りを上げました。トゲソの会は、坂田家の利用・活用（貸しギャラリー・季節レストラン）などのサポーターを求めましたが、今回はうまくマッチングはできませんでした。会員の皆さんで、サポーターとして支援していただける方がいればご紹介願います。

## 2、新潟市エコフェスティバルで浄化実験の出前（10月14日）

新潟市から、エコフェスティバルへ参加の呼びかけがありました。

10月14日に、東区のエコプラザで子ども向けに浄化実験を出前しました。理事4人が実験授業を手伝いました。

この実験は、汚れた水を作り最後に粉末活性炭で「きれい」にする学習です。炭は汚れや臭いを取る特性があります。例えば、水槽の汚れ取り、冷蔵庫の臭い取りなどにたくさんの炭製品が利用されています。また、炭入り石けん、炭入れ歯磨き・化粧品などの生活用品にも使われています。できるだけ水を汚さず、地球に優しい生活をするためにはどうしたらよいか、楽しい実験を通してエコな生活について考えてもらいました。



▲ 汚れた水の「浄化実験」

### 3、トゲソの生息調査（10月20日）… わずか1匹の確認にとどまる

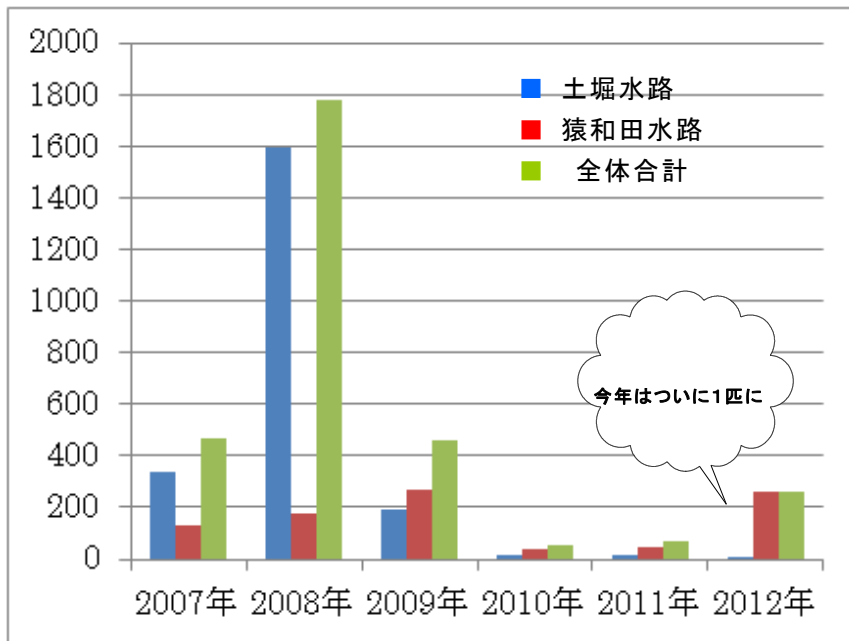
秋の10月20日、毎年実施している「トゲソの生息調査」が行われました。

土堀の水路調査箇所は約110mです。

いつものように新潟大学と日本自然環境専門学校の学生さんが8名ほど支援に来てくれました。また、五泉市からも職員が応援に駆けつけてくれました。

しかし土堀の生息地では、わずか1匹のトゲソしか確認できませんでした。

その反面、アメリカザリガニはバケツに3杯ほど捕れ、833匹以上も確認されました。そして、水路にも外来種の水草コカナダモが大繁殖していました。



▲ 6年間の生息「棒グラフ」結果

▲ 2008年には1600匹も生息していたが…。急速に悪化。

#### ◆考えられる原因

はっきりした原因は不明ですが、下記のことが考えられます。

- ①外来種アメリカザリガニ大量発生に伴う、トゲソの捕食被害。
- ②コカナダモという外来水生植物に水路がおおわれ、水路の閉塞が起きたこと。(トゲソが泳げなくなり、ザリガニの標的となりやすい)
- ③水路から巣づくり材料となる水草ミクリが消滅したこと。(一部に水鳥が食べたという説あり)
- ④湧き水とともに吹き出す砂のため水路が浅くなった。
- ④新しく造った土水路では脇の土が崩れるなど水深の低下と生息環境の悪化、などが考えられます。

またその他の影響としては⑤猛暑による水位の低下、⑥大雪による酸欠状態などの異常気象⑦湧き水の水量低下、が原因と考えられます。

#### ◆今後の対策

2年続けてトゲソは危機的状況にあることが分かりました。トゲソの会としては、来年に向けて

- ①巣作りの材料となるミクリの移植を更に行い、生息環境をつくり出す。
- ②冬場に向けて、この上流水路部にテグスを張って、鳥の被害防止対策を図る。



▲上 土堀・生息調査に奮闘中  
下 今年も学生さんが応援・感謝



- ③他の場所にはまだ生息しているので、専門家と協議して遺伝子レベルで同じ系統の水路から移植について検討する。
- ④砂が溜まり浅くなり、脇土の崩れている水路を直し、悪化した水路状態を補修する。
- ②外来種を排除した管理した短い繁殖場所をつくり、他の場所と比較モニタリングする。
- ⑤ザリガニとコカナダモの駆除をさらに続けていく

などの改善を検討しています。

もちろん、これでトゲソが五泉から消滅したわけではありません。他にも、猿和田地区をはじめとして5箇所が生息が確認されています。長いスパンで、トゲソをどう守っていくか皆さんもご提案をお寄せ願います。

#### 4、里芋掘りツアーの実施（11月10日～11日）



◆左―サトイモ料理と夕食  
◇右―サトイモの株分け作業

◆東京と新潟の各地から五泉の里芋掘りに15名ほどの方が来られました。

今回は「里芋掘りと紅葉の旅」として、馬下保養センターに宿泊して阿賀野川の紅葉を見学しました。ただ里芋掘り本番の10日はあいにくの風雨で現地の掘り取りは中止となりました。その分、夜の「里芋料理」はのっぺなど堪能していただきました。翌日は、阿賀野川の角神ダム湖の遊覧船に乗り、紅葉の新潟を楽しんでいただきました。

#### 5、ふるさと村・NPOフェスタでの出展と販売（11月17日）



▲ ふるさと村で展示と販売

イベントも開かれました。これからも県民・市民がNPOなどにもっと関心を持ってもらえるイベントが多く開かれることを期待したいものです。

第1回新潟県NPO・市民活動博覧会が11月17日、ふるさと村で開催されました。これは、新潟県内のNPOや市民活動団体の活動を広く知ってもらうために開かれたものです。略して「みんなく」です。

トゲソの会は販売ブースに出展しました。（写真）当日は、飲食ブースや体験ブースなどに県内より19団体が参加しました。

トゲソの会も、小雨ふる中でしたが「サトイモ」「とげそ米」「しそ南蛮」などを販売しました。また、その他にNPOサポート基金募集としてチャリティーラ

#### 7、「うまさギュギュッと五泉」の発送（12月7日）

年末限定の「うまさギュギュッと五泉」の詰め合わせセットが130個余り作られ発送されました。

発送作業は、トゲソの会の事務所がある坂田家で行われました。発送作業をしたのは、トゲソの会の他に近藤酒造と



金鶏盃酒造の2社。それに南蛮みその「すゝきや(エスマート)」さん、アロニアを製造する「サン・ファーム泉」さん、村松でユニークな女性の視点から食で街おこしをしている「かあちゃん本補」さんの5団体です。

この取り組みは、一昨年から五泉フードブランド会議として続いてきたもので、何かアクションを！と実現したものです。セット贈答品は2種類があり、Aセットは2社のお酒が入った「うんめもんセット」。Bセットは3種類のお米とたまごやアロニアジャムが入った「朝食セット」です。



トゲソの会は「トゲソのお米」と「しそ南蛮」を詰め合わせセットの一品として提供しました。まだ、試行的な取り組みでしたが、今後は課題を改善して恒例の年末五泉贈答品として定着できるよう取り組んでいきたいと考えています。

▲トゲソ米の入った「朝食セット」

## 8、今年度の総合学習支援を終える (10月～11月)



▲10/9五泉小「浄化実験」



▲11/6南小「ビオトープ」調査



▲11/30川東小「CODテスト」

総合学習の支援が10月～11月にかけて、市内小学校3校で実施されました。特に、南小3年生では校内にある「南のいずみ」水路で11月6日にトゲソの生息調査を実施しました。小雨の降る天候の悪い中での調査でした。それでも、117匹のトゲソを確認できました。現在、南小も含め2校のビオトープにも外来種のカナダ藻が見受けられています。トゲソが大事な地域の宝として、今後も小学校で育てていくことを願っています。

## 今後の予定・案内

①1月26日(土) 五泉トゲソの会「新年会」 場所:坂田家 詳細は事務局へ問合せ願います。



五泉トゲソの会では、「地域ブランド商品」を紹介する「トゲソ村・湧水の里市場」のホームページを開設しています。随時、「トゲ男・トゲ子のブログ」も公開しております。湧水の恵みセットの販売中です。こちらのホームページもご覧ください。

★事業部門ートゲソ村湧水の里市場

<http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>

■ 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 高橋荘三

事務所 住所 959-1645 五泉市土堀295番地 担当スタッフ 浅井美乃里

電話 0250-47-4439 ・FAX 0250-47-4440 メール gosen@togeso.com

事務局 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1中村吉則方

電話・FAX 0250-22-0271 メール:togeso@beige.plala.or.jp

■ ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>